

# 山城研究所アンケート 20041125

箇条書きを否定(批判)された事は大変ショックでした。情報を表す体系になっていなかったという事はつまり理解が表面的だったという事だったのかもしれない。全体で見るとこの事を大切にしたいと思います。

絵は世界共通語。色と形で思考する、私はそれを言葉に直すというプロセスをとります。いよいよ私の時代かな・・・そんな気がしてうれしかったです!!

私自身も発表用パワーポイントは極力図解化につとめています。しかしながら、その中の数ページは文章になってしまいます。今後は更に考え、図を極めたいと考えております。

先生が言われた「仕事はコミュニケーションである」この一言が本日の講義で一番印象に残った。

現在仕事の内容を図解で行っています。今後も仕事の中で活用したいと思います。図で考えて行動を起こす多少人間個々の持っているバランス感でできる人できない人がいると思います。

最近地域コミュニティーの論文を書こうと思っていたが足りないところがわかり始めた。参考になった。

図の使い方を見直してみよう等、明日からすぐに実行できる内容が多かった。

問題解決するために短い期間で有効な手段を得るためには条例だったり、他社の方法をベンチマークして活用流用する方が良いと考える。自分の場所で深堀する事では周りが見えず間違いに気付くのにか時間がかかる。

現在北原先生の講義の中で、図解を中心とした企画立案手法を学んでおり図解トレーニング中なのですが、自分の描いた図に自身がない状況です。

花王株式会社で取締役人事部長、取締役広報部長を経て04年4月より法政大学院の教授をしています。KJ法をスタートに独自で図解の勉強をしていきました。現在大学では**久恒教授の本を指定参考書**にして「企画文章」の授業をしています。本日はその授業の受講生15名中、14名引き連れて参加させて頂きました。来週からの授業が更に楽しみです。

とてもおもしろい久恒啓一図解WEBです! 目からうろこが落ちる感じです。今ホームページを作っている所ですが、大変勉強になりました。

図解の良さは理解出来そうだが、テクニック(書く手法)についての説明が欲しかった。

トヨタにいたことがありますが、彼等はよく考えますが、先生の考え方に通じるところがあると思います。

もう少し文字を図に落とす方法などを教えて頂きたかった。宣伝が多い様に感じた。

図を使ったコミュニケーションに現在のITの発展がどのようにからむかが特にビジネスには大きいと思います。

試してみます!!

頭の活性化のための「図解」考えるための「図解」というフレーズがかなり共感できる部分でした。

先生の本の中でカウンセリングのURLが出ておりましたが、いつの間にか伯楽のHPが閉鎖されたのか見つからないのですが、どうしてですか?

# 山城研究所アンケート 20041125

日常生活や仕事の中で「なるほど」という共感がわく点が多かった。

日常の業務で文章を書くことに時間をとられていたために今回のお話は参考になりました。これからの仕事に活かしていきたいと思います。

私の弱いところは図解化と思い、参加させて頂きました。とりもなおさず、本質が理解してなかったという事であることがわかりました。

才能 < 理解する努力

図で考える習慣を身につけるために、理解できる事、できない事、批判(逆説も含め)を明確に出す事から始めたいと思います。

自分の今の、これからの仕事について混乱していたのが本音ですが、今日の講演でヒントが得られたと思います。まずは自分の仕事から図解して企画に生かして参ります。社内報にも図解コーナーを作ることになりました。

配布された資料をみただけでは理解しにくかった。図+文章や図+口頭説明して初めて図の効力が発揮されると感じました。

一度、人生、仕事、経験について図表してみたいと思います。

図解テクニックを図化して欲しかったです。ただし図解だけでは理解する事は困難だと感じました。

楽しい話術に乗せられた形で1.5hの時間は非常に短く感じられました。図にしようとするか考えるかこれは本当にその通りだと気付きました。今回はこれだけで十分に転機になる気がします。

図解化するコツは何でしょうか？決まりごと等ありますか？これまでのクセで図の中に文章の割合が多くなってしまうように思います。

空間認識力が勝ると言われている男性向き？かとも思いました。

箇条書きは簡潔に情報を伝える目的で使っているつもりであったが、十分な情報が表現できない。図示によりより正確な情報を伝えられる。

既に久恒フィーバーに患ってしまったようです。「考える力」は人から言われるものではないというお話は大変胸をつかれた思いがしました。

シンプルな思考法、是非活用できるようになりたいと思います。まずは本を読み、手近な所から実践してゆこうと思いました。正直なことを言いますが、まだ図を見てピンと来ませんが、これからどうなるか楽しみです。苦しんでみます。

頭が整理されてないと図示も簡潔にまとめることもできない。だからこそ、Meetingで説得力があり参加者の賛同が得られるのはまとまった図化されたプレゼン資料なのだと思う。私は伝えたい情報が多すぎ、まとめられない、教科書のような膨大な資料を作成してしまうことが多い。そして結局最後まで読まれないこともあるのではないだろうか。図dえかなりの量の情報を扱える事を知り今までの自分の資料の見直しの必要性を痛感した。

早速、自分の仕事を描いてみることをしてみたいと思います。

図の重要度は高いと思います。ただし図だけではなく、やはり記載された説明の言葉もあって図が生きるのでは？

意味を教える事を敬遠しては図解ができない。子供を叱るときも注意が必要だと感じました。まずは先生のHPで図の意味になれるようにしていきます。

# 山城研究所アンケート 20041125

非常に共感できる部分が数多くありました。但し、十分に理解できたとも思えないので書籍に目を通してみたいと思います。

積極的に感染されたいと思っております。私の会社(人材行く絵をビジネスにしております)でも取り組んでみたい題材です。

理解した事、疑問に思う事、批判的に思った事という3つに分けて考えるというお話が非常に参考になりました。

図解は経験も大切であると思うが、図解ができること事自体が理解できていることであると思う。非常にわかりやすいセミナーでした。勉強になりました。

社内で図の活用を図ったことが何度ありますが、不徹底でした。再度チャレンジしてみたいと思います。夫婦の相互理解推進のためにも、情報源の購読紙、朝日、日経、サンケイ(河北)とありました。全社3紙は私と同じで先生に親しみを感じました。

話を聴く側が聞きたくなり、一目瞭然で理解できるが、図の描き方がわからない。実態を分解して図に表す技法が知りたい。

同世代で共感できました。別府出身者です。すばらしいお話でした。発想が良いですね。良い語録でした。

図は状況によってどんどん変わるもの。

提案資料を作る際、図解の資料を多用すると手抜きしたように思われる風潮があり、長々と説明の多い資料を作成していましたが、このセミナー受講を機に、大いに図での説明を活用していきたいと思います。

キャリアとは  
学習歴 仕事歴 経験歴  
世の中のすべてはこの3つ  
理解 疑問 批判

大変感銘を受けた

(理解) 図にする発想を大事にしたいと感じた。  
(疑問) 何がわからないのか? がわからない  
(批判) 遠目で先生のHPを拝見しただけなのですが、フォントは大きくした方がよいと思います。  
【結論】先生の考え方をどうアレンジして仕事に活かすか? 自分で考えて実践してみる

文章コミュニケーションの難しさを日頃感じていました。誤解、あいまいさが含まれていて伝える事がもどかしい正し聞けていたのかも不明。図解の効率、強さも理解しました。

図で描くことは要は理解でき、頭の中が整理されたことの証。仕事上、昔の人は図ではなく、箇条書きを好む人が多いように思う。図ではグラフとか数字が意外と少ないと感じました。

図解のテクニックについて聞きたかった

何でも図をかいて解決する上司がいますが、なぜそれがわかりやすいか再任式しました。自分も今後どんどん図を採用しようと思います。大変楽しくためになる講義でした。

社外やトップを意識した内容にしかなくて、いないことに気付きました。社員が見てわかるようなものになるよう意識したいと思っています。あと考えるクセをつけます。仕事をしろ、作業はするな」とよくおこられますので。

色々な図があり、どんな図にするのが最適なかわかりません。

# 山城研究所アンケート 20041125

文章を図にする前に箇条書きでキーワードを抜き出し、それから分類して分けして図にしよう考えるのかなと思います。文章を図にする能力を身につけるには具体的にどのようにしたらよしいのでしょうか？

図で考える人は仕事ができる、は拝読させて頂きましたが、その際はよく理解できませんでした。本日色々な例を交え、ご説明いただき大変よくわかりました。今後自分のレベルで実際訓練をしてまいります。

図解で考える事が物事を知る上で非常に有効である事が認識できた。これまでKAE実践経営大学等セミナーを聴講したが、これまでにない内容で大変楽しく聞けた。

物事に対する理解は3つに大別して行くと非常に深まるという事が非常に新鮮でした。これまでも何となくは分けていたような気はしますが、はっきり明確にわけていく事で今後の考え方をかなり整理する事が出来そうです。

図で考えた場合、一つの図で多くの情報を持っている事を再認識させられたが、簡単な例から図にする訓練が必要と感じた。慣れた場合はもっと優れた情報伝達方法だと思う。

入社当時、上司よりよく絵に描けと言われましたが、本日の講演でああこの事だったのかと納得しました。

図のキーワードの抽出はどうしたら良いでしょうか？

十分な理解と思考力はこれからだと思いますが、非常に参考になりました。

他社の事は調べない(マネをしない)自分の足元を深堀りする(自分で考える)という話は心にずしんと来ました。

図は見て考えるものだと感じました。

図にする=論理=考える 問題解決などで始めてゆきたい。ここでもう箇条書きになろうとするのが悪いくせである。図解に表すポイント等(図の描き方)を説明して欲しかった。

「目からうろこ」は誰でも今回出席した方の感想だと思いますが、私もその一人です。

図にすると理解できる、などほどとピンと来ました。歴史好きな私は学生時代、先生の授業は聞かず、教科書を読み図でまとめていました。学生時代に戻って仕事を図化しようと思います。

物事をよく理解するために図で表現する努力をすべきであることはわかりましたが、どのように図の作成に着手すればよいのか、とっかかりの見つけ方のアドバイスが頂ければ良かったと思いました。

会社の先輩にこういうユニークな方がいたとは驚きました。

特許も図にならないでしょうか？特許庁で講演されてはいかがでしょうか？(希望です。)

勉強するなどご教示いただきましたが、勉強してしまいました。ウチの製品(薬剤)では感染は防ぐ事はできませんでした。

ビジネスの経験に基づいた実践的な理論を学べて非常に良かったです。貴重な話をしていただきありがとうございます。

昔から図で自分の思考を表すのが好きでした。自分の考えをまとめることができました。会議においても図で結論を導くようにします。

コミュニケーションの大切さ、また深いコミュニケーションを取るためにはどうするか？考えさせられ、大変ためになりました。